

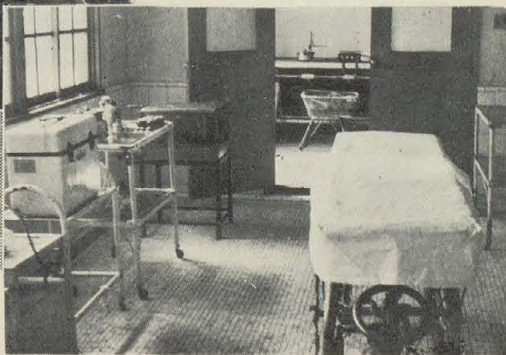
第八編 衛生 (市民病院)

梁人

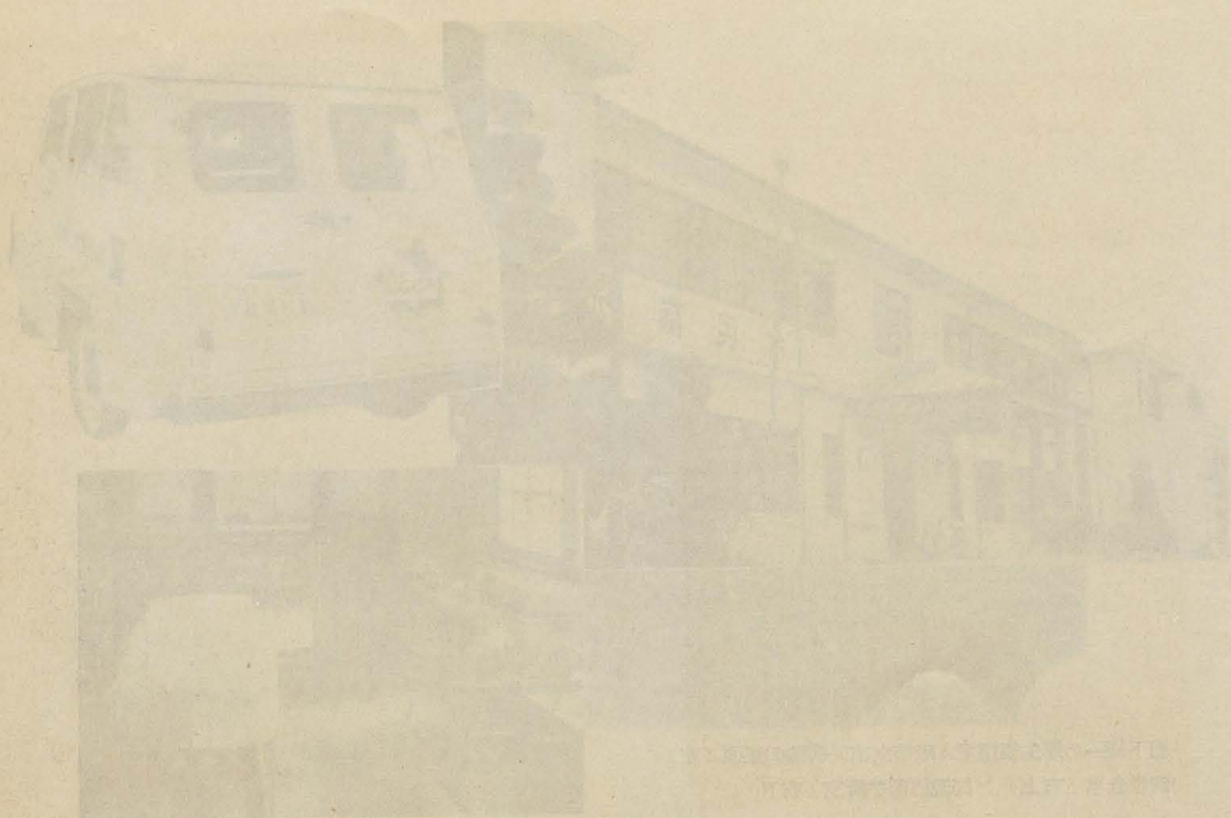
編

主

(市見書局)

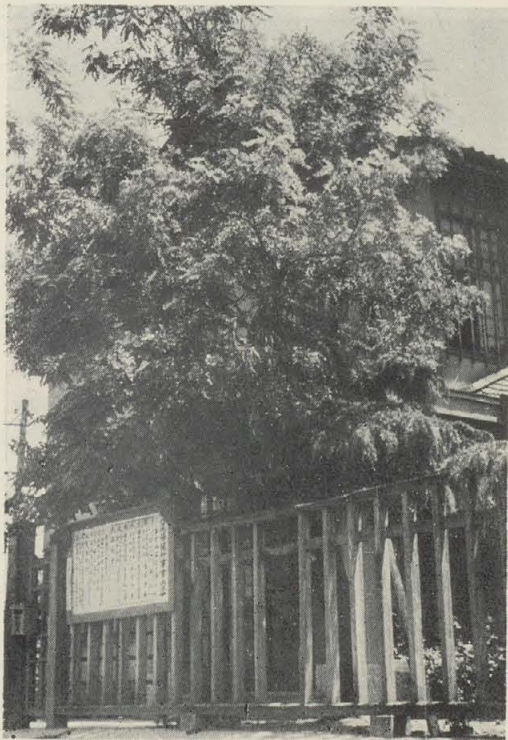


府下随一の厚生省指定A級市立市民病院の正面（左）
同救急車（右上） 同院内部手術室（右下）



THE CAR AND THE BUILDING
IN THE PICTURE

府立八尾保健所



右上から左へ西郡トラホーム

検診風景・ハエ取り(中左)

豫防接種(右下)



出生集計表

(昭和26年1月~6月)

出生児の体重	1.7疋以下	1.8疋以上	2.1疋以上	2.4疋以上	2.7疋以上	3疋以上	3.3疋以上	3.6疋以上	3.9疋以上	4.2疋以上	計
	479匁	480匁	560匁	640匁	720匁	800匁	880匁	960匁	1,040匁	1,120匁	
男	6	6	24	40	142	72	63	54	11	2	420
女	1	5	28	46	154	54	44	43	2	2	379
計	7	11	52	86	296	126	107	97	13	4	799

死産取扱状況

月別	胎月数	届出数	在胎月数							計
			5ヶ月迄	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	不明	
1		12	4	1	2	1	2	1	1	12
2		19	7	3	2	3	2	1	1	19
3		10	3	0	2	0	1	3	1	10
4		5	0	1	1	0	0	3	0	5
5		5	2	1	0	1	0	1	0	5
6		4	3	0	0	0	1	0	0	4
7		8	4	1	1	1	0	1	0	8
8		14	4	2	2	1	2	2	1	14
9		14	9	1	0	1	1	2	0	14
10		12	4	4	1	1	1	0	1	12
11		11	6	2	1	1	0	1	0	11
12		7	1	1	1	1	1	1	1	7
計		121	47	17	13	11	11	16	6	121

月別性別結核患者發生及死亡數

月別	性別發死數		發 生 數		小 計	死 亡 數		小 計	總 計
	男	女	男	女		男	女		
1			11	7	18	7		7	25
2			20	18	38	3	6	9	47
3			19	16	35	4	4	8	43
4			20	10	30	3	1	4	34
5			19	23	42	5	3	8	50
6			26	13	39	3	5	8	47
7			9	10	19	3	4	4	23
8			15	11	26	3	3	6	32
9			21	7	28	4	1	5	33
10			12	9	21	7	1	8	29
11			6	10	16	4		4	20
12			31	6	37	2	3	5	42
計			190	140	349	45	31	76	425

年 令 別 妊 娠 屆 出

年令 月別	18才	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	不明	計	
1	2	1	6	5	5	2	3	7	11	11	6	5	7	3	2	5	6	2	6	3	1	1	1	2	1									2	107	
2		2	5	5	3	4	9	8	8	5	7	7	5	5	7	3	7	7	2	3	4	1	4						1		1			6	115	
3		1	3	4	5	9	9	6	12	9	11	7	13	6	6	2	3	5	4	1	3	2	1	1										4	127	
4	1	2	4	2	3	5	4	2	6	9	9	6	13	6	8	3	8	5	3	5	1	3	1	3	1	1								2	107	
5			3	5	8	6	11	10	10	11	8	3	7	9	7	5	2	7	5	3	1	2	1	1	1	1	1							1	130	
6		1	2	6	4	6	3	5	7	11	12	5	11	4	7	3	4	5	3	2	5	1													3	116
7			2	3	5	4	10	7	15	8	13	5	3	2	2	6	7	3	2	1	1		1		1	1								1	100	
8	1		3	7	7	11	15	10	14	11	7	10	3	5	6	5	5	6	6	3	2	3	2		1	1								2	143	
9	2		4	8	5	12	7	18	16	6	4	3	11	13	3	4	4	2	3	2	5	1	2	2	1						1			2	137	
10		1	3	3	3	13	12	10	12	15	8	11	8	3	3	5	5	2	5	2	3	1	2	2	2	3								1	132	
11	1	4	1	4	5	7	7	8	11	12	4	10	10	7	5	2	2	3	2	2	2	2	3	2		1								1	116	
12				1	5	10	11	9	8	7	9	9	8	6	12	6	6	2	2	1	3	2	5	2										1	117	
計	8	13	4	49	62	83	105	109	137	113	95	87	87	69	62	48	48	48	37	32	21	18	23	10	6	5	2		1	1	1	26	1,447			

痘種 痘 實 施

(昭和26年1月~12月)

期 別	予 定 人 員	実 施 人 員	%	備 考
第 一 期	1,057	695	66	発生の慮れある地域を実施
第 二 期	1,647	1,057	64	
第 三 期	1,171	786	74	
臨 時		3,490		
計	3,875	6,028		

チフテリヤ予防接種実施

(昭和26年1月~12月)

期 別	予 定 人 員	実 施 人 員	%	備 考
第 一 期	922	538	54	
第 二 期	1,349	721	53	
第 三 期	1,171	1,011	86	
計	3,442	2,270	66	

腸チフス予防接種実施

接 種 別	予 定 人 員	実 施 人 員	%	備 考	
定 期	初 回	2,500	1,134	45	
	追 加	34,438	3,834	11.2	
臨 時	初 回				
	追 加				

法定傳染病月別發生者調

(昭和26年12月12日現在)

病名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全治	死亡	合計
疑似赤痢	1						2	1	2	1			7	0	7
赤痢			1		1		1	3	1		1		8	0	8
保菌者赤痢				4				1		1			6	0	6
疑似疫痢					1								0	1	1
疫痢		1	1	1	1		2	1	1	1			3	6	9
腸チフス					2			1					3	0	3
疑似流脳			1										0	1	1
流脳										1			1	0	1
疑似猩紅熱			2	2		1							5	0	5
チフテリア		2							1				3	0	※4
疑似日脳								3	1				1	3	4
合計	1	3	5	7	5	1	5	10	6	4	1	1	37	11	49

※1名入院中

傳染病予防使用藥品

藥品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
5% D D T	23	55	46.5	53	92	140.5	164	105.5	25.5	33	32.5	28.0	798.5ガロン
10% D D T	123	291	342	0	7	30	0	0	0	5	230	50.0	152.8ボンド
30倍用乳劑	13	29	30	11	65	79.5	59	122.5	56	19	7	0	491ガロン
補助劑ペンゾール							50	5					55ガロン

月別性病発生数

月別	病名	梅毒	淋病	軟性下疳	第四性病	計
1		3	3	1	1	8
2		8	2			10
3		8	4			12
4		3	1	1		5
5		6	2	1		9
6		6	2	2		10
7		6	4			10
8		5	3	1		9
9		4	3	2		9
10		5	4	1		10
11		5	1		1	7
12		3	2	2		7
計		62	31	11	2	106

届出傳染病調

病名 月別	マ ラ リ ア	ま し ん	百 日 咳	流 感 行 性 胃	急 白 脊 髓 炎 灰	肺 炎	呼 性 吸 結 器 核	ト ラ ホ ー ム	伝 下 染 痢 性 症	計
1		1				11		1		13
2		2			1	12		582		597
3		5				10		1		16
4		8	3			1		2		14
5		32				6		4		42
6		9	1		1	6		641		658
7		1				2				3
8		1				4		1		6
9						3		3		6
10						2		4		6
11			4			2				2
12						1		1		6
計		59	8		2	61		1240		1363

栄養 種別	月令別 性別			14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	計
	母乳栄養	男	人 平	員 均	15 9.25	19 9.85	12 9.75	29 10.81	24 10.42	33 11.79	23 10.23	17 10.26	21 12.8	16 10.95
女		人 平	員 均	22 8.55	14 8.7	21 8.91	30 9.37	21 9.45	27 9.97	19 9.36	21 10.19	22 10.27	25 10.16	
混合栄養	男	人 平	員 均	5 8.94	2 8.9	4 9.7	4 9.25	4 10.13	6 9.97	5 10.15	7 10.96	4 10.66		
	女	人 平	員 均	3 9.34	5 8.95	4 8.72	3 8.9	1 9.75	2 9.18	8 9.55	3 9.96	1 9.6	6 10.86	
人工栄養	男	人 平	員 均		1 9.5	1 9.5		2 1.1	5 9.77	3 10.05	2 10.64	2 12.56	3 11.5	
	女	人 平	員 均			2 9.75	2 9.4	2 9.25		5 9.5			3 9.63	

ツ 反 應 B C G 接 種

種別 性別 年令別	予定 人員	定期接種 免除		受検者数			判定人員			陽 性			疑 陽 性			陰 性			BCG接種		
		結核 患者	その他	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0才	646		5	361	280	641	312	230	542	25	22	47	40	26	66	247	182	429	276	200	476
1才	663	1	2	328	332	660	277	285	562	41	49	90	37	39	76	199	197	596	237	227	464
計	1,309	1	7	689	612	1,301	689	515	1,104	66	71	137	77	65	142	446	379	1,025	513	427	940

精密檢診實施成績

種別 性別 年令別	精密檢診																			
	予定数		実施数		健康		要注								要治療(要休養)		要入院(要療養)			
	男	女	男	女	A	B1		B2		B3		B4		C1		C2		D		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0才	11	8	3	3			1	1	1	2										1
1才	8	15	3	4		1	1				1	1	1	1	1	1				
計	19	23	6	7		1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1				1

火葬場使用狀況

(昭和26年1月1日—12月24日)

市				内				市				外				合計			
特等		壹等		式等		特等		壹等		式等		特等		壹等		式等			
大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小		
57	3	187	11	31	75	4	3	6	7	1	4	61	6	193	18	32	79		

久宝寺						龍華						合計					
特等		壹等		式等		特等		壹等		式等		特等		壹等		式等	
大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小
44	2	104	7	20	52	18	2	87	4	12	26	62	4	191	11	32	78

死産				合計
久宝寺		龍華		
25		66		91

種計
476
464
940

鼠族昆虫駆除工作薬品使用量

薬品別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
DDT	オイル	23	55	46.5	50	92	140.5	164	105.5	25.5	33	32.5	28	795.5ガロン
〃	粉末	123	291	342	0	7	30	0	0	0	5	230	303	1331ポンド
ピレドリン	乳剤	13	29	30	11	65	79.5	59	122.5	56	19	7	0	491ガロン
ペンゾール		0	0	0	0	0	0	50	5	0	0	0	0	55ガロン

狂犬病予防注射及飼犬登録数

飼 犬 登 録 数	1, 2 8 5 頭
狂 犬 病 予 防 注 射 頭 数	6 8 2 頭

西郡トラホーム治療状況

1. 地 名	西 郡	(濃厚感染地区名 北之辻(通称))
2. 世 帯 数	8 5 9 世 帯	(濃厚感染地区 6 3 9 世 帯)
3. 人 口	3, 4 1 5 名	(〃 2, 3 0 9 名)
4. 感 染 率	3.0 %	(〃 7 6. 0 %)
5. 附近医療施設の状況	内科医 1 名	(夜 間 の み 診 療)

沿革風土産業

本地区は、八尾市の最北端に位し、全域平坦田に囲まれた中位の部落で東に生駒連峯併立し氣候概ね溫和、住民の多くは覆物花緒製造を父祖以來の生業とし、其の起源は相當に古く従つて全国業界に夙に知られその生産数量共に全国隨一にして名実共に日本一の品質花緒生産地、俗に河内花緒としての名を負うところなり。交通は近鉄八尾駅を起点に近鉄バスを南北に貫通し、近鉄八尾駅、同若江岩田

駅に連絡あり、明治十七年旧若江郡西郡村、若江北村、若江南村、玉井新田の四村連合して第十八戸長役場を設置したが、その後若江南村外三ヶ村戸長役場と改正し、明治二十三年の村制実施に際し戸長役場を分離して中河内郡西郡村として独立、更に昭和二十三年四月八尾町、龍華町、久宝寺村、大正村、西郡村五ヶ町村の併合により八尾市を編成するに至つた。

部 落 人 口

(昭和26年6月末現在)

部 落 名	世 帯 数	全世帯 (862) に対する率	人 口			全人口 (3,342)に に対する率
			男	女	計	
北	ノ	辻	1,117	1,194	2,309	0.70
中	ノ	辻	353	358	711	0.21
西	ノ	辻	158	162	320	0.09
合	計	862	1,628	1,714	3,342	

本籍人口動態

(昭和25年中)

部 落 名	出 生	死 亡	結 婚	離 婚	入 籍	転 籍	計
北	ノ	辻	98	31	52	6	199
中	ノ	辻	17	7	3	2	30
西	ノ	辻	12	1	5	1	19
合	計	127	39	60	8	8	248

職 業 別 世 帯 数

(昭和26年6月末現在)

部 落 名	工 業				商 業	農 業	其 の 他		
	花 緒	下駄修理	其 の 他	計					
北	ノ	辻	304	97	1	402	29	35	173
中	ノ	辻	75	3	3	81	5	29	50
西	ノ	辻			1	1		54	2
合	計	379	100	5	484	35	118	225	

生活保護法による被保護者

(昭和26年6月末現在)

部 落 名	世 帯 数	人 口	全世帯数(862)に対する比率	全人口(3,342)に対する比率
北ノ辻	53	121	0.085	0.052
中ノ辻	9	23	0.055	0.031
西ノ辻	1	3	0.019	0.005
合 計	63	147	0.073	0.044

諸施設及市行政分布

名 称	所 在 部 落 名
西郡共同浴場	北ノ辻
西郡授産場	〃
西郡共同便所	〃
市立西郡診療所	〃
市役所西郡出張所	中ノ辻
市立西郡小学校	〃
市立西郡保育所	北ノ辻
市立西郡児童公園	〃
市警察西郡駐在所	〃

1. 総 論

我が国における「トラホーム」の罹患率はかなり高度なものであり、生活環境や衛生水準の低いことと相俟つて「トラホーム」の撲滅はなかなか容易でなかつた。しかも戦時中より戦後へかけての不自由な混乱した生活によつて低い生活水準が更に一層低くなり「トラホーム」の罹病の増加を來してきた。戦後新しい医学の行き方として予防医学が重視され結核とか性病予防にはそれぞれ適切な施策が講じられてきたが、ひとり「トラホーム」予防に関しては世人の関心は甚だ低く、この儘放置しては市民の保健に重大な影響を與える結果となるため、八尾市では昭和二十六年年度の衛生事業の一つとして当市西郡地区の「トラホーム」撲滅に乗り出すことになり大阪府予防課に依頼し、去る六月二十三日当西郡地区の「トラホーム」一斉検診を実施した結果、西郡地区住民の約

80%近くが同病に罹患し、甚だしきは失明に近き者さえ多数ある状況で、これが蔓延防止のため、今回徹底的な治療を施し撲滅を期するべく下記の通り実施した。

当地区の「トラホーム」罹患は昨今発生、流行を來したものでなく、遠く過去数百年以前からの固疾であり、生活環境並に衛生水

準の特に低い住民の特有の慣習から発生蔓延するに及んだものであつて、一朝一夕では撲滅は難事とされ現在まで幾たびとなく、諸種の治療が施されてきたが根治することなく現在に至つたものである。

幸いにして今回府予防課、日赤大阪支部の應援を得て後述の如く「オーレオマイシン」による最新式実験治療法を採用し、当地区の「トラホーム」の撲滅を期せんとした。

2. 検診の状況

「トラホーム」予防法第四條第一項第一号の規定により下記の通り実施した。

◇ 第 一 次

実 施 日	昭和二十六年六月二十三日	
総 受 診 者	1,483名	
内異常のない者	350名	
罹 患 者	1,133名	76.5% (罹患率)
内 訳		
重 症	192名	(男 68名・女124名)
軽 症	386名	(男154名・女232名)
疑 似 症	555名	(男207名・女348名)

◇ 第 二 次

実 施 日	昭和二十六年十一月十一日	
総 受 診 者	899名	
内異常のない者	134名	
罹 患 者	765名	85.0% (罹患率)
内 訳		
重 症	164名	(男 46名・女118名)
軽 症	240名	(男 86名・女154名)
疑 似 症	361名	(男151名・女210名)

◆ 第 三 次

実 施 日	昭和二十六年十一月二十日		
総 受 診 者	742名		
内 訳			
治 癒	100名	(男 32名・女 68名)	
略 治	174名	(男 82名・女 92名)	
著 効	274名	(男 96名・女 178名)	
稍 効	189名	(男 57名・女 132名)	
不 変	5名	(男 2名・女 3名)	

今後検診は毎月一回行い、検診の結果治癒した者には「治癒通知書」を交付。

3. 治療の状況(予定を含む)

1. 集団治療(第一期)昭和二十六年十一月十二日—二十一日

毎日六時、九時、十二時、十五時、十八時、二十一時の六回、三時間毎に治療を施し、第一回より第五回目までは「オーレオマイシン」の点眼薬を使用、第六回目は就寝前のため「オーレオマイシン」軟膏を点入した。

毎回治療人員約700名、一日延人員約4,200名

右の期間従事人員 大阪府予防課、日赤大阪支部、八尾保健所、市衛生課、西郡出張所、地元各種団体役員等毎日30数名、十日間延300数十名に及ぶ。

2. 集団治療(第二期)昭和二十六年十一月二十二日—昭和二十七年一月三十一日

右第一期治療終了の翌日から朝晝夕の三回軟膏点入。

第一期間中に治癒しなかつた者約600名に対して治療を続行する。但し、十一月二十二日より約二週間後に治癒見込の者約170名を含む。

3. 集団治療(第三期)昭和二十七年二月一日—三月三十一日

右第二期治療終了の翌日から一日一回軟膏点入。

第二期間中に治癒しなかつた者約400名(予定)の治療を続行する。

4. 使用薬剤

治療期間中使用した薬品又は今後使用見込の薬品は下の通りである。

1. 眼科用結晶オーレオマイシン点眼液 (0.5%)
2. 結晶オーレオマイシン軟膏 (眼科用1.0%)

5. 診療所の開設

「トラホーム」予防法第五條の規定によつて地区内に「トラホーム」治療専門の診療所を開設した。

右診療所は、旧西郡村当時の「国民健康保険組合」の診療所であつたが昭和二十三年四月合併市制施行後使用せず荒廃状態のまま現在に至り、このままでは診療所として使用不可能のため本市において今回「トラホーム」診療所として改修したもので、今後は恒久的に利用することにした。

改修経費約35万円、追加工事費約7万円 計42万円

6. 生活環境の改善

この「トラホーム」の治療については、医業方面のみでは、充分初期の目的を達成することは不可能であるから生活環境の改善のため、上水道施設の拡充（現在既に本管引込済）は緊急を要する問題であるが当地区は貧困者が多いため各家庭への引込み線の負担（個人負担約6千円余）に堪えないので、上水道使用の徹底は当分不可能とされている。次に排水溝、側溝等の完備、共同浴場（現在一浴場あり）及び共同便所の増設、改善、家庭内の衛生施設の改善、完備、清掃美化の必要は言を俟たない状態であるので、第一期治療期間中は府予防課、八尾保健所及び市衛生課より数名、各戸訪問指導に当つた結果、ある程度の改善効果を収めることができた第二期以後は、八尾保健所及び地元各種団体役員の協力を求め環境改善の指導に当り、この改善は一朝一夕では実現不可能であるから忍耐強く徐々に教育指導に乗り出すべく着々計画実施中である。

7. 将来の見通しと対策

西郡地区「トラホーム」の罹患状況は前述の通りであるが再発防止の必要上、環境改善指導と相俟つて施療の中止は絶対にさけるべきであつて、予算の許す限り引続き施療を継続し、初期の目的達成のため努力する必要がある。

8. 参 考 事 項

1. 集団治療についての効果

「トラホーム」は従来から種々の方法をもつて治療されてきたが、何れも対個人的で煩雑を極め、しかも何れも著效を挙げることは不可能であつて再感染、再発多く症状は一進一退、極めて難治のものとされていた。然るに幸いにして今回大阪府より鞍馬の「オーレオマイシン」(米国レーダリ研究所製)による集団治療は、従来では得られない有効率をあげており、しかも集団治療に必要な条件、即ち医師の一定方針による指導下に簡単な方法で副作用なく、効果的であるという点に於いて「オーレオマイシン」療法は、現在のところ相当優秀効果のあるものと思われる。

本成績を詳細に検討すると、罹患率80%に近い地区に対し僅々十日間で30%余の治療率を挙げたことは使用方法と指導方法が適切であつた証拠であつて、この治療率を今後もあげるためには西郡地区の生活並に環境の改善ということが最も重要且根本的なことと思われる。従来「トラホーム」治療は主として患者個人を中心とした治療であつて生活及び環境に対する指導は余り考慮されていなかったが、今回実施した集団治療は過去の缺陷を補いつつ総合的な効果を充分に挙げ得るものと確信する。

市 民 病 院

- | | | |
|------------|----------------------------|---|
| 1. 所 在 地 | 太子堂 122 | 近鉄バス太子堂下車・電 ⁸⁰⁰ / ₉₀₀ 番 |
| 1. 診 療 科 目 | 内科、小兒科、外科、皮膚科、産婦人科、放射線科、齒科 | |
| 1. 病 床 数 | 102 | |
| 1. 従 業 者 数 | | |

医 師	調 剤 員	看 護 婦	助 産 婦	事 務 職 員	X 線 科	栄 養 士	雜 仕 婦	運 転 手	炊 事	使 丁	計
15	3	32	1	9	1	1	4	1	6	5	78

各科別市内市外患者数並に比率表

種別 月別	内 科		外 科		婦 人 科		齒 科		合 計	市内患者率
	市 内	市 外	市 内	市 外	市 内	市 外	市 内	市 外		
1	690	188	689	222	170	23	198	71	2,251	77%
2	978	255	796	262	269	38	149	28	2,775	79
3	1,282	280	948	273	248	44	198	48	3,321	80
4	1,171	290	956	196	197	49	126	66	3,051	80
5	1,240	328	900	209	282	54	141	72	3,226	79
6	1,390	359	1,264	128	306	52	171	41	3,711	84
7	1,507	330	869	156	322	63	170	60	3,477	82
8	1,653	367	1,234	277	292	90	200	71	4,184	80
9	1,436	386	921	215	271	80	232	73	3,614	79
10	1,332	412	949	151	332	88	203	40	3,507	80
11	922	292	926	181	258	90	163	40	2,862	79
12	749	263	726	173	259	60	132	35	2,397	78

各科別患者数

科別 月別	内 科	外 科	婦 人 科	齒 科	合 計	1 日 平 均
1	878	911	193	261	2,251	98名
2	1,233	1,058	307	177	2,775	115
3	1,562	1,221	292	246	3,321	128
4	1,461	1,152	246	192	3,051	122
5	1,568	1,109	336	213	3,226	124
6	1,749	1,392	358	212	3,711	143
7	1,837	1,025	385	230	3,477	134
8	2,020	1,511	382	271	4,184	155
9	1,822	1,136	351	305	3,614	151
10	1,744	1,100	420	243	3,507	135
11	1,214	1,107	348	203	2,872	115
12	1,012	899	319	167	2,397	92
計	18,100	13,621	3,837	2,728	38,386	126

こと
旋の
療に
ン」

適切
こと
され

入 院 患 者 数

種 別 月 別	入 院 患 者		合 計	市 入 院 患 者 比 率
	市 内	市 外		
1	861	344	1,205	71%
2	941	327	1,268	74
3	1,145	328	1,473	78
4	1,056	338	1,394	76
5	1,225	288	1,513	80
6	1,172	345	1,517	77
7	1,240	365	1,605	77
8	1,317	284	1,601	82
9	1,410	244	1,652	85
10	1,429	564	1,993	71
11	1,507	741	2,248	67
12	1,750	841	2,591	67

各 科 別 入 院 延 患 者 数

科 別 月 別	内 科	外 科	婦 人 科	合 計	1 日 平 均
2	733	423	112	1,268	45
3	758	628	87	1,473	47
4	768	548	78	1,394	46
5	889	576	48	1,513	49
6	825	624	68	1,517	50
7	858	653	86	1,597	51
8	907	572	111	1,590	51
9	813	622	219	1,654	55
10	1,129	668	196	1,993	64
11	1,366	731	151	2,248	75
12	1,597	882	112	2,591	84
合計	11,350	7,384	1,309	20,043	55

第九編 產業

26年 統計表 農林部
(26年) 農林部 統計表

